



第 72 号 地域開発みちの会

みちの会だより



<http://www.aichi.michinokai.cc> 発行責任者 加藤美幸

第 25 回知多・名古屋女性フォーラム

あなた わたし
「男と女を活かす男女共同参画」

日 時：平成 25 年 2 月 2 日（土）13:30～15:30
会 場：半田市福祉文化会館（雁宿ホール）講堂（定員 300 名）

来賓あいさつ 榊原純夫半田市長
地域開発みちの会 平成 24 年度活動報告
DVD 上映 「これからの男の生き方!イクメン・カジダン・共同メン」



講演講師
NHK 名古屋放送局 報道部記者
山本恵子氏

第 4 回全体会にご出席下さい

今年度の活動は会員のみなさんのご希望を考慮して内容に工夫を凝らしております。全体会にてご意見をいただくことでより向上をすることができます。是非全体会にご出席下さい。

日 時：12 月 3 日（月） 13:30～ 雁宿ホール 2 F 視聴覚室

議 題： 1) H26 年度以降の会長選出について
2) フォーラムについて

スタッフベスト、お披露目

スタッフベストが完成しました。議員と語る会、Bブロック学習会にて使用をしています。前開きジッパーで着用がしやすく、後ろ身ごろには

For A Gender Equality Society in Chita and Nagoya, since 1987
会の発足、昭和 62 年（1987 年）より、知多 5 市 5 町と名古屋市、地域の男女平等参画社会実現を目指す思いを円形に配したデザインになっています。



活動報告

盛況、議員と語る会

10月18日(木) アイプラザ半田 小ホール

参加人数:73名(議員31名、行政職員1名、会員41名)

今年度の議員と語る会は、各ブロックの年間テーマに沿うようにグループ別テーマを決め、ブロックごとに事前に資料を準備し、学習を重ねて当日を迎えました。

参加議員には出来るだけブロックの市町のグループに入ってもらえるような配慮を行いました。

グループ別テーマ

- ① 女性の視点で考える防災・減災 Bブロック
- ② 働く女性への支援 Cブロック
- ③ 男性にとっての男女共同参画 A・Dブロック



第3回全体会・神戸日帰り研修



9月14日(金) 参加人数 25名

名古屋駅前を出発したバスの車内で、第3回全体会を行いました。

- ・議員と語る会の準備・進行
 - ・今後の会長選出、フォーラム開催市町の選定について
- などの議事は、発言者にマイクが手渡しリレーで進行され、車中の不便はありましたが活発な意見交換ができました。

目的地、阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」では、映像や展示を見学したあと、語り部の山田耕祐さんに震災当時、避難所運営にあたった体験を伺い数々の困難を乗り越えられたことに心打たれました。

お話にあった、「災害は忘れた頃にやってくる」は、皆が心にきざんでおくべきことで、減災に対する意識を高めるためのキーワードになると思いました。



ウィルあいちフェスタ2012 参加

11月17日(土) 10:00~12:00 ウィルあいちセミナールーム6

参加人数 36人 Dブロック担当

講演 ~今、どうしてカジダンなのか?~ 講師 石田仁氏

ワークショップ ~カジダンのふやし方~

椋山女学園大学・岐阜大学他で非常勤講師の石田仁氏により、男性の家事参加が必要とされる現在に至った社会背景の講演とカジダンを増やすため、日常生活でできる取り組み案を考えるワークショップを行いました。



Bブロック学習会

11月23日（金・祝）13：30～15：30 河和港観光総合センター 大会議室

参加人数： 一般50名、会員19名 総数 69名

講演 「減災への取り組み」 講師 堀家泰司郎氏



ブルーシート、ラグマットを敷き避難所をイメージした会場で講演が行われました。地震のメカニズムや被災時の人の行動傾向などのお話のあと、武豊町における防災の取り組みについて具体的な事例が紹介されました。質疑応答では複数の男性参加者から掘り下げた質問があり、減災への取り組みに高い関心があることが伺われました。

講演後は、身の回りの品から手作りできる防災グッズの紹介と、簡単に作ることができる非常食の試食がありました。

各ブロックの取り組み

Dブロック

昨年度制作DVD「これからの男の生き方！イクメン・カジダン・共同メン」の上映とアンケートの結果を抜粋して制作をした9枚のパネルを使い、《地域にとびたす～みちの会～》を実践しています。

10月13日（土）情報発信 ひがしうら総合子育て支援センター

11月10日（土）「東浦町産業まつり」参加 写真→



日本女性会議2012仙台 参加レポート

日程：平成24年10月26日（金）～28日（日） 会場：仙台国際センター

参加レポート 1 山崎宏子

特別プログラムでは、被災地で支援に関わった女性たちの生の声を聞いた。分科会では第4分科会『東日本大震災・原発事故と母子支援』に参加した。生々しく語られた女性たちの現状・窮状や、女性の視点からの報告と提言。これらをいかに社会に知らしめていくか。そこから、私たち女性は何を考え、何をしなければならないのか。それはまさしく“自ら決めて、動いて、社会を変えていこう”という思いが込められた大会テーマにつながる。災害が近いのではといわれている昨今、この被災地での女性たちの経験を、大会での提言を決して無駄にしてはならない。女性として発信し、責任ある行動していくことができるよう努力していきたい。



参加レポート 2 都筑恵美子

10月26日（金）エクスカッション参加

仙台市宮城野区の津波被害にあった地区を訪問。海岸から2～3キロのところにある小学校は1階部分が抜けたままの状態

で建っている。周辺には1000軒ほどの住宅があったが、残っている建物は数軒。近くには麒麟ビール仙台工場があり、操業再開しているものの一般住宅は建築不可能。

10月28日（日）

みちの会有志で「東北ヘルプ」と交流を持った。事務局長の川上直哉氏に放射能測定器の説明をお聞きした後、「心の相談」をされている事務所に案内していただいた。



↑放射線の測定器

←会場：仙台国際センター

アンケート、わたしはこう読む！ (第3回)

ゆる気まんまん
連載中



昨年度行われた2つのアンケート。このコーナーでは「自分はココが気になる！」についてを自由に論じてもらいます。

県・「男性のための男女共同参画に関するアンケート」より
Q5 あなたは、男性が育児休業を取ることにどう思いますか。

先日、スーパーで子どもを抱っこし、生鮮食料品をカートに入れている男性にあった。聞けば「育休中」という。男性が育児休暇をとることは、さして驚くことではなくなりつつある。

みちの会のアンケート結果にも、育児休業を男性が取ることについては、過半数が「本人が希望するなら取らせるべき」と回答している。その反面、仕事に支障がないようにした上でなら、短い期間ならと条件をつけてもいる。長期に休暇を取るわけだから、仕事に支障がでるのは道理である。支障が全くないなら、彼の職場での存在は何だったのか、ということになる。また、1週間位の育児休業で「子育ての喜びと大変さを実感できた」とは言ってはほしくない。

ある母親が嘆いていたことがある。夫が「育休」を取ったが「指示待ちイクメン」であった。子どもが病気になっても、病院の手配や何を食べさせるか妻の指示を待つのである。これではファミリーサポートに依頼することと変わらない。男性の家事・育児能力の質の向上が求められている。 永山峰子

情報交差点

☆ウィルあいち交流ネットセミナー 12月2日(日) 13:30～ ウィルあいち 3階 大会議室

☆国際交流はなのき会 スタディツアー2012 平成25年1月14日(月)～1月18日(金)

☆平成24年度セミナー生交流会 平成25年1月19日(土) ウィルあいち

☆ひがしうら女性の会 映画会 平成25年1月20日(日) 14:00～ 東浦町文化センター
「ダブルシフト～パパの子育て奮闘記」

☆みちの会 知多・名古屋女性フォーラム 平成25年2月2日(土) 雁宿ホール講堂(記事参照)

☆第5回全体会、新年会 平成25年2月11日(祝・月) 11:00～

師崎荘 南知多町大字師崎字高岩57 TEL 0569(63)2020 会費¥5,000(予定)



編集後記

ウィルあいちフェスタのみちの会ワークショップで若い男性の単独参加がありました。閉会後の机の移動の手伝いをしてくれていた彼に少しインタビューを試みました。

ひとり暮らしの社会人で、フェスタのちらしを見てワークショップの参加を選んだとのこと。何か感想は？との問いかけに、しばらく考えてから「もっと男性の参加が欲しかったですね」という回答をいただきました。こんな男性がもっと増えてくれるといいですね。

編集委員 野端京子 052-823-5577
櫻井雅美 0569-72-0236

